



編集ボランティアのページ

●担当編集ボランティア／日置雅夫・岩下茂子

高齢者や障がい者の笑顔のために 移動と生活の支援

NPO法人一宮ボランティアグループリーダーの会(VGL)は、約80名の高齢者や障がい者の移動と生活の支援を行っている福祉団体です。また、協働事業の育成と推進を行っています。具体的には、毎年6月に行われる「市民と企業の協働フェスタ」開催の企画運営協力を行っています。

人は、年を重ねることで、できていたことがひとつずつできなくなります。特に、外出が難しくなります。VGLでは、この外出をピンポイントでサポートしています。そして、利用者が在宅で不自由の少ない生活をすることを目標としています。

「協働フェスタ」は、地域の元気な方々のために市民と企業で協働してフェスタを開催するものです。協働への理解を深めることや「福祉・医療・介護を楽しみながら学ぶ」をテーマにしています。今年6月の第6回協働フェスタは、NPO、企業、市役所など31団体が参加し、尾張一宮駅前ビル3階のシビックテラスで開催されました。

VGLは、平成15年3月に旧一宮市の社会福祉協議会に登録していたボランティア団体のリーダーが集まって設立されました。ききょう会館にあった市民活動支援センターの運営協力を無償で8年間行い、市内の市民活動やボランティア活動の活性化に努力しました。

2008年には、福祉移送を行うためにNPO法人化しました。現在、会員数は41名です。



2017 市民と企業の協働フェスタ in 一宮
皆で楽しくフォークダンスを踊りました。

濃尾大花火大会の清掃ボランティア活動に参加して

毎年8月14日に開催されています濃尾大花火大会。今年も大盛況のうちに終わりましたが、それを支えているたくさんのボランティアさんがいます。

翌朝6時に私が堤防に着いたときには、一般のボランティアの方たちと一緒に尾西高校の生徒さんが、沢山のごみの入ったゴミ袋を片手に、雨の中カッパを着てゴミ拾いをしていました。

その中のお一人に話を聞いてみました。

「このボランティアに参加して人数の多さに驚きました。それに今年は、すごく雨が降っていて、とても寒かったにもかかわらず、高校生ボランティアもカッパを着て掃除しました。

濡れながらの掃除は大変でしたが、素晴らしい活動だと思うので、来年も参加して堤防・緑道をきれいになりたいと思います。」 渡邊(談)

地域の方々による支えがあってこそ、濃尾大花火大会が成功出来ているのだと思いました。



悪天候の中、地域の皆さん・尾西高校の生徒の皆さん
本当にお疲れ様でした。